

四万十川リバーサイドフルウォーク2019

平成31年4月6日（土）・7日（日）の2日間、6月中旬並みのぽかぽか陽気の中、第30回四万十川リバーサイドフルウォーク2019を開催しました。

今年は、1日目の下流コースに252人、2日目の上流コースに203の方が参加し、延べ22都府県から455の方が、桜満開の四万十川沿いを歩いて楽しんでいただきました。

1日目は、国内で最も高い27.1度を記録し、平野海岸や双海海岸では多くのサーファーが波乗りを楽しんでいる中、参加者は雄大な太平洋を望みながら、四万十川沿いを楽しんでいました。

2日日も気温は上がり、昼食会場の桜つつみ公園では、ゆっくりと休憩をする参加者と花見客であふれ、暑い暑いと汗をかきながら半袖でゴールする参加者もたくさんいました。

1日目：下流コース

下流コースは、10km、16km、29kmの3コースがあり、雄大な四万十川河口や太平洋を身近に感じてもらえるコースになっています。



スタート会場に、四万十市役所特命職員のぶしゅまろくんが駆けつけてくれました。たくさんの参加者と記念撮影をして、お見送りしました。



ごりコース（10km）のチェックポイントの不破八幡宮は1469年に創建されました。本殿は国の重要文化財に指定されていて、お参りをしていく参加者もいました。



四万十川記念公園下のチェックポイントは昼食ポイントにもなっています。川幅も広く、緩やかな水の流れを眺めながら、ゆったり過ごしていました。



今年も地元の商店街振興組合が接待所を作り、コーヒーやお茶菓子を振る舞ってくれました。ゴールの前にイスに座って一休みです。



昼食ポイントで配布していたみそ汁に、今回から四万十川でとれたアオサノリが入ることになりました。参加者の皆さんにも好評で、一番多い人は6回もおかわりしたそうです。

2日目：上流コース

上流コースには、17km、23km、30kmのコースがあり、新緑がまぶしい山あいの風景や沈下橋を渡り楽しんでいました。



上流コースの見所はなんと言っても、沈下橋！かわせみコース、てながえびコースは、勝間と佐田の2つの沈下橋を渡ります。欄干のない橋の上で、恐々と川を覗き込んだり、写真撮影したりしていました。



ここは勝間沈下橋からコースを1kmほど進んだあたり。勝間沈下橋のいい撮影ポイントを見つけたみたいです。

どんな写真が撮れるかは、行ってみてのお楽しみ！



佐田沈下橋では、偶然屋形船に遭遇！参加者の皆さん、あわてて写真撮影してましてけど、うまく撮れたかな？



天候に恵まれ、入田の四万十桜づつみ公園は、桜が満開。この日は天気もよく、お昼過ぎると過ごしやすい気温になったので、多くの参加者が、ここでお花見していきました。



四万十市のシンボル「赤鉄橋」。
ここまで来たら、残り3km。あと少しでゴールです。
よく見ると、手に持っている袋にはイタドリがいっぱい。これもひとつの楽しみ方ですね。



今年のベストショットです。
くじらコース(29km)の双海チェックポイントでパシャリ！
大人でも辛いこのコースに、小さな子ども達も参加！手に杖を持ってやる気十分！
無事にゴール出来たかな？